本 市 0 人 П (昭和50年7月1日現在)

総 数 194,791人 男 795人 女 996人 261世帯 数

> 甲 府

> > 上に立って、具体的実行目標と を確立する、以上の基本姿勢の

交通安全対策は、車歩道区分の

を図り高校教育の水準向上を期り、不燃物処理施設を新たに建

する。幼児教育は市立幼稚園を一設し、また、し屎処理について に民宿事業の拠点とする「市民

し、川林の緑化に努め、黒平町 設、改築、舗装を計画的に実施 の設定を図る。また林道の新 減、更に市街化区域に生産緑地 事業にかかる地元負担金の点 後継者の育成に努め、土地改良

図る

また行財政運営は、事業の重

画へと市民主体の行政の実現を 参加上協力を得て、対話から参 め、市政に対する市民の積極的 の強化と職員の能力開発に努 策を全職員に撤属する庁内体制 て、市政執行の基本姿勢及び政 学び仕事に生きる姿勢を堅持し ビス意識と接遇に撤し、仕事に 運営を期し、市職員総てがサー 」であるが、明るい公正な市政

品を自粛する考えはないか。

も日常生活に苦情のない町づく

いこいの里」を建設し過疎地域

に撤し、財政の建全件の維持に 点的な実施と経費支出の效率化

りに努める。児童、近隣公園等 の開発を進める。中小企業対策

高校建設についても本市に誘致 掃はゴミの収集体制の整備を図 実を期する。なお、県が計画の 路整備を計画的に推進する。清 児電対策の推進、特殊学級の充 の普及促進と、市街地の生活水 果の向上を図る。また留守家庭 酸等下水道事業並びに水洗化等

して次の五つの柱をたてて施策

一総ての 市民のしあ

の施設建設、併せてバイコロジ 明確化、防護柵、カープミラー

遺児に暖かい手をさしのべると 一運動を前進させる。なお交通 の設置、児童の交通教育のため

文化活動を助長し芸術文化の振 する援助の充実を図る。社会教 計画的に設置し私立幼稚園に対

ル地区の設定により特色ある緑

ともに交通事故相談制度を充実

求に速かに対応する市役所体制 夜間救魚診療体制、看護婦養成

機関等医療行政の充実を図る。

民総参加市政を推進し、市民要

導など積極的に推進する。なお

の設置、障害者の授産旅設の誘

員、肢体不自由界份子派魔施設

に市民との対話を更に進め、市

施設の拡充、検診の充実、 を守り生甲斐ある施策」 わせのために、命と暮し

專具

する。

また消費者保護対策で

位の向上、婦人団体の自主活動 **興を図り、更に婦人の社会的地** 育は総合市民会館を建設、市民

関連遺路の改良整備、舗装の方 化活動を進める。市道及び生活 を計画的に建設し特定線化モデ

では、老人対策として、

商業の完成予

想 Ŕ

河口市長

人間

都

市

甲府」の

都市

つ くり

五つの柱をたてて施策推

形成、地域別生産を推進し農業 興計画により生産性の高い産地 のための施策」
先ず農業振 し、特に中小企業の振興

推進し父母負担の解消と教育効 努める。 また引続き 処理場建

利」を守り実現していく。第四

新設するほか、家庭奉仕員の増 化、教材教具の公費整備計画を

で文化的な生活を営む市民の植 努め、憲法に保障される「健康

宅重度心身障害者看護人手当を 整備を行う。重度心身障害児 金制度の充実、 お母子家庭の児童手当、就学資

を検討し、教育水準の向上均衡

荒川多目的ダムの早期宝現、更

に山付きの末給水地域の解消に

の上に立つて産業を開発 る。四、「人間尊重の基盤

備を進めるとともに学区再編成 上水道は水源の確保に対処し、校の新設、増改築など施設の整 づくりを推進する。このために

資金の貸付制度等に万全を期す スの向上と民主市政を更

に発展させるための施策

をはじめ防除施設整備の促進と 進する。 五、「市民サービ

への医療費の補助を行い、

在

の確保による地方自治の確立に 立する。第三に自主性と主体性 心とした調和ある都市基盤を確

府市議会だよ

5

電話 (35) 7054 甲府市議会事務局

2 6

◇政治姿勢

6 月 定例会日程

19日**~**21日 22日 23日 24日

福 祉・環境整備を基調に

計般 総 予 算 額 百三十七 億

円

勢を中心に活発な質問戦を展開しました。その主な内容は、次の 和好(共産党)の九氏が各党派を代表し河口市政二期目の基本姿 市政ク)、秋山慎次郎(自民党)、臼井成夫(自民党)、小林匡 わたり、上田英文(市政ク)、河西富夫(市政ク)、市村輝男(とおりであります。 (社会党)、原田正八郎(社会党)、堀込徳一(公明党)、武川 今期最初の一般質問は、六月十六日から十八日までの三日間に 間河口市政二期目の取組み目

関する調査特別委員会を設置し、十二日間にわたる会項を閉じました。

あるが、不偏不党の行政を執行す一め、この姿勢を堅持してまいりま 革新市長会に加入している経過が 間 政治姿勢について、市長は ておりますとおり、市政執行にあ

市政を推進

市民総参加

重ねお互いに理解を深めて、協調 また、国、県に対しても接触を

主的な市民生活優先の市政を更

づき増設を行い、 育所については、年次計画に基 の定期的な乾燥事業を進め、

保育料の父

の職業相談制度の充実を図る。

れる環境の整備された、

施設整備基金の創設、高年令者安全な住みよい生活が送

労者海の家の充実、勤労者福祉 を 推進する。 増額を図る。労働福祉対策は勤 早期に完成、市民体育館の建設 被る低所得者には法外援護費の の場である小瀬スポーツ公園をは、特に日常生活に直接影響を を積極的に進め、なお社会体育

三、「快適で

保

に進める。第二に市民生活を中

母負担軽減も併せて進める。な

母子祭の改築

づくりの施策」で、

小中学

条例を制定し、快適な生活環境

和を愛し、文化を尊ぶ人 の施策」では、環境保全器本

宅用地の造成と確保を図る。ま

適応した住宅建設、勤労者向住 湯村、白山峠、グリーンライン

建設を進め、この中で身障者に 住宅対策は市営住宅の積極的な 付みよい都市機能をつくる。 丸巾地区再開発等の推進により 進し、刑務所移転、甲府駅近代化 針は、今後も変えることなく推

た公害対策は公害発生源の規制

園の移転についても積極的に推 を結ぶ観光遊歩道を設け、動物 調和のとれた施設整備を図り、 峡多目的ダム周辺の自然環境と ターの建設を進める。なお昇仙 資源開発のため御光物産セン

二、「教育を振興し、平 うるおいある 都市づくり

所信表明の中でも申し上げ一の度合いを強めていきたい

処するか。 また、国、県に対してはどう対 答

る確信はあるか。

90

万甲府市民全体の幸せと繁栄のた ります。将来にわたっても、十九 ないという姿勢を明らかにしてお -を持ち込まず、一党一派に偏し

第一に人間尊重を基調として民 私の市政執行の基本姿勢は、 河

長

所

信

隶

明

たっては、行政の中へイデオロギー行う市政が革新であり、市民を主 るので、もっと革新色を打ち出せ 人公とした、市民総参加市政を推 また、本市には少ない文化施設 ないか。 標をどとに置くか。 堅持してまいりたい。 また。私は市民サイドに立って一きていると思うが、対策について 尊重」「生活優先」の基本姿勢を 答今後とも、 また、革新市長会に加入してい 現在の「人間

聞きたい。

の教育制度にメスを入れる時機に 知育偏重で通してきた学力万能

す。

進する姿勢は変らない。 ◇教育行 政

間 高校生の不純異性交遊問題 知育、情操に重点

で、子を持つ親は心配している。 今後の学校教育は

6 月 定

例会

六月定例市議会は、六月十三日に招集され、会期を二十四日までと決め、まず、冒頭市長より河口市政第二期の所信の表明があ 育委員会、学校、社会、家庭がそ

など二十三件を審議しました。この結果、いずれも全員顕議なく原案のとおり可決しました。また、議会選出の農業委員並びに第 り、市長改選を接えての三月定例会では、昭和五十年度当初予算を骨格予算としたため、政策的肉付けのための一般会計補正予算 ・ 奥仙丈山原賜県有財産保護組合議員の選挙を行い、さらに、甲府刑務所移転促進に関する調査特別委員会、甲府駅近代化促進に を入れ、さらに、児童生徒健全育トル(八億一千六百万円)の校舎 校教育にあっては知育、情操教育、度は、

三千九百二十二平方メート うな問題が発生しないように、学、ラウンドを建設していく。五十年 成会もつくって、社会全体から考しを建設し、五十二年度開校にもっ 不良化防止という大きな点にメス を重点にし、社会教育では青少年|ル(四億六千八百万円)を、五十

えていくよう計画を進めている。 は跡地処分で 甲商移転財源

にして欲しい。 どの計画をはじめ、全容を明らか 間甲府商業高校跡地の売却な

に負けない施設とし、五十二年四一均等の立場から改善と増車が必要 月開校するよう努力をしておりま。 である身障者にも利用できるよう 答 商業高校移転は、県立一商 どうか。送迎用のバスも市民への

は更新時に検討 送迎用バスの改善

してふさわしくないが整備計画は 間市立病院の本館は、病院と

ていくよう努力している。 ◇民生行政 していく。 ようにしているが今後も充分監視 して交互運転で排水している。万 一の場合も自家発電で対処できる

にできないか。また院内保育所は一恵の福祉でなく、権利としての福一いる。 国保料値上げ抑制 一般財源を投入し

間 市長が福祉について、「恩 生や宅地沈下などの事件が起きて 楽は都市計画、土木費の範疇にて ごみ処理委員会を 設置し機種を検討

発生したことは、誠に遺憾であり 欠陥のないようにしたい。また同 |院内の改装にも着手したい。送迎 | うなのか。また、国保料や病院治 名誉を回復する必要がある。 より青少年の健全育成をはかり、 答 高校生不純異性交遊問題が 出来るかどうか困難である。オ人 |新館に移すのでそのための改造と |他部門に予算的に与える影響はど より健康的な遊び場の設置に は、 が、千坪を地元に提供することが 青沼、青葉の敷地処分について | 夜間保育もする考えはないか。 地元の意見を 十分尊重,する

祉」を強調されていることには賛

経験を生かして、不燃物は不燃物 として処理していくべきではない

・今後の不燃物処理は、この苦い

か。

委員会としては、今後再びこのよ 二十大平方メートル)の校舎、グ スポーツ振興や施設整備を通じて | 窓会館の建設は、現在同窓会とも | 用バスは公共バスの補充として現 | 療費の高負担に通ずることはない れぞれの責任を回避することなく、四万九千五百平方メートル)に、 対処せねばならないと思う。教育「鉄筋四階雄一部」開建(九千九百 | 時に検討したい。院内保育所は当 | たって医療費の改定が行われ、実 | して、過去の反省の上に立って新 △間形成の努力を払っていく。・ 話し合いを続けておりますが、ま 在駅前から病院の間を選行してい また、このような問題には、数だ結論を得ておりません。 甲府商高の移築は一万五千坪 (|乗し、利用者の介護にあたってい る。身障者のための改善は、更新 して改造していく。本年は外科を一を占めている民生費の各施策が、 るが、運転手の他に助手一名が同 答本館は五十年度を初年度と | 意を表せるが、総予算の四分の一

影響しないよう配慮している。

国保については、昨年二回にわ

答 福祉優先施策が他の事業に いう面から、処理機には罪もあっ

間、ごみ処理に困っていた本市に

答 鉄化石処理は操業以来七

役立ったことは事実であり、

そう

たが功もあったといえる。

今後は、ごみ処理委員会を設置

面は尾間保育でいく。 下湧水対策は 病院新館の地

し、三五%に押え市民負担の軽減 ていく。

に努めている。今後とも、市民負

◇商工行政

中央公園地下駐車

ているが、本市は一般財源を投入 | 理場 (不燃物専用工場) を建設 際には三八・七%のアップになっしい機種を検討し、立派なごみが

一年度は五千六百八十一平方メー であり、本館にも地下湧水があっ そこに集水し、ポンプを二基設置 たので、新館地下にピットを設け いが、その対応策は万全か。 答 病院周辺は地下水の高い所 間 病院新館の地下湧水が著し 担軽減の立場で福祉施策を講じて

トンのごみ処理に困っていたとき

ち込まれたが。その機種は、百ト による城南中グラウンドのガス発 | 商店街近代化等の市街地再開発車 しかない。それに、鉄化石埋立て「上、補助金、融資などに限られ、 ンはおろか三〇トンくらいの能力

百トンの処理能力があるとして持 車場設置などの対策で、商業発 間鉄化石処理機は、本市が百一これに引き替え、法人税は十五億 に役立てる考えはないか。 と、商工業者の税負担は重い。 構成比は、二・五%と最も低く、 間商工費の一般会計に占める 建設を県に要請

い。将来にわたっては、補助、 るものであり商工費には表われた 答商工業費予算は事業の供給

含めた検討をし、さらに、中央な 感である。用地確保が困難である 資に限らず、他の面でも検討を 強く働きかけていきたい。 関地下に設置するよう県に向って ていきたい。駐車場の必要件は同 丸中地区再開発でも駐車場を

する。

また、地場産業の振興と観光

各種団体、行事に対 財 政

他 方財政のなかで 大きな 負担で めるべきであり、助成金は厳し あらゆる角度から検討し基準を見 れている。公金支出をする場合は るので対策の練り直しをする時間 間助成的経費が相当額計上さ する助成を再検討

費の節約が叫ばれているので、 また、各種行事に際しての記念 贈呈品の変付については、

に来ていると考えるがどうか。 また、市の行事の記念品、 贈

りたい。 い。今後十分検討し対処してまい 額であるので抑制をしていきた 答年間の財成金、密附金は多

れらの中でプロジェクトチー 検討させていきたい。

様化する消費者要望に対応でき 融資制度を更に充実し、高度名 る経営の近代化、

は、組合共同施設融資の実施等

C

(総務委員会)

改築の諸負契約締結など九案件が一一、中庭整備と多目的研修室につ一

委員会はこれら、請負契約に関一答弁がありました。なお、委員よ

じめ、各小学校並びに屋体の新増ること。

閉会しました。

委員会報子の内容は、次のとお一にそれぞれ独立した照明施設を設

一、構内照明については、各施設 | 検討することを要望しました。

大限にあげられるよう、さらに、

可決して、会期二日間の臨時会を | させること。

了算特别

 $\widehat{\sigma}$

内 容



担当するに当り、所信扱明を行い 「人間都市甲府」の都市づくりの 河口市長は、第二期目の市政を

会計で二十三億七千六百九十八万 ため、肉付け予算として今回一般

樋口委員長 あります。 ◇総括質問

六千円の追加予算を提案しました一なる 主要事業を 計画的 に行うた 九日から二十一日まで三日間に亘 は異例の特別委員会を設置し、十 り似重に審査を行いましなた。 その主な内容は、次のとおりで 議会では、補正予算審査として

間中期市政執行方針の根幹と

五十一年に着手する。

状 況 いる現状ではあるが、複雑多様化

査 | ている中で、人件費等経常経費は | 少しているが、住宅内第者及び最 べきではあるが、そのために市民 わなければならないのではないか | てほしい。 的配償は必要であり、定数増は行 バスの運行等利用者の便をはかつ 答 地方財政の硬直化が叫ばれ

別えていきたい。また、総括質問要実施すること。 会サービスを欠くようなことがあっ用をしてほしい。 特望意見としては、

委

Ø

一、プレハブ教室の解消等教育施一で、市長が訪問し合意を得て、設 ついては、本市においても同県の して事業の万全を期すこと。

甲 府

二七

月 臨

時

が、その中で革新といえる政策と|学校公社の設置等積極的に新しい 政策公準の設定と基本構想の策定 長期計画との関連はどうか。 めの根幹事業計画が今回示された一設の充実と不況対策の立場から、 また、所信表明の中に示された 角度からの取組みを研究すること が出されました。

◇一般会計

はいつするのか。

のと理解してよい。また魅力あるをすること。 って長期計画を事実上改定したも、スが低下をしないよう十分な配慮 政策であり、執行方針の策定によーイアウト及び通路は、市民サービ 都市実現のための科学的政策公準 答 根幹事業計画の総てが革新 一、交通安全都市の宣言をしてい る本市職員は、率先してヘルメッ 一、郵便局跡地取得に伴う庁内レ

を目標とする基本構想の策定には一、川宮清掃工場の一時休業を製 は、本年度中に設定し、六十年度 間 ・地方財政の危機が叫ばれて | い処理施設の調査研究を早期にす トを着用し市民の範を示すこと。 機に、ごみの再利用を含めた新し

する市民需要に対応するための人 一、勤労者海の家は好評であるが るとと。

一、住宅建設戸数が前年に比し減

員 | てはならないので、当然に必要な | 一、遊亀公園の動物園の池をきれ |人員配置は行い、市民の期待に応||いにするための対策を早急にたて | 極力抑制する方向で行政を運営す | 気浮揚対策の面から前向きに対処 し、入居にあたって困窮度制の採

強力なプロジェクトチームを編成一、姉妹都市との交流計画は、相て積極的に取り組んでいく。 問題が発生しているが、今後より | 当局から明らかにされました。 一、甲府商業高校の実習助手の定一に図り具体化していく。

予

算

手方の合意を要するものもあるの一、私立保育所施設整備の補助に

と結果は次のとおりです。 十日の両日委員会を開会、慎重 いましたが、主に先般発生した に審査しましたがその主な経過 委員会は冒頭、総括質問を行 基本 姿勢を質しまし 交遊問題等を中心に市 女子高校生の不純異性 不純異性交遊問題に

ある。と質したのに対し、 し、真相を解明する必 ので実態を早急に調査 みならず各方面に大き にしています。また、委員会は ついては、単に本市の

握をしていきたい。今後の対策 については、ひとり生徒や学校 う庁舎改造、レイアウトの変更 ◇甲府市中小企業資金融 独自で実態を調査し、適確にはに強く提言いたしました。

条例案十四件について十九・二 のではなく、社会、学校並びに 招いているが、市民サービスに て対策を立てる姿勢がなければ 生徒の生活指導を図り、父兄と しても道徳教育の徹底、個々の ならない。当然、教育委員会と 家庭のそれぞれが英知を結集し

らないようにしたいとの決意が で二度とこのようなことの起こ ら授業中生徒を連れ出し調査し

していきたいとの姿勢を明らか ととは適当でない。このことに ま教育現場から生徒を連れ出す たと言われているが、制服のま 設計画も具体化されつつある瑞

当局から今後早急に教育委員会 極めて肝要であると教育委員会 見を十分考慮し、総合的見地か 具体的な方針を打ち出すことが 時期等についてはそういった意 を厳しくみつめ確固たる姿勢とればならないが、処分の方法、 なお、郵便局跡地の確保に伴

条例特別委員会は付託された 当局だけの問題としてとらえる により一部市民にとって混乱を を強化していきたいとの答弁が 欠けることのよい おける経過の大要です。 ありました。以上が総括質問に

の連携を更に一層密にするなか ては次のとおりです。

しては(仮称)東南小学校の建

な影響を及ぼしている この問題を処理するにあたって 設にあたってはその財源確保の 教育委員会当局自らがこの現実 ためこれらの土地を売却しなけ また、警察当局が教育現場か 青葉町のグランド用地処分に際

弁がありました。

条例案個々の審査状況につい

連して、商業高校核舎跡地及び 一部を改正する条例は、関 ◇甲府市特別会計条例の

のに対し、当局から商業高校建 べきであるとの意見が出された とるなかで慎重に対処していく 酌し、 長期的教育 方針にのっ 況なので 地元の意見を 十分斟

ら慎重を期していきたいとの答

、よう一層指導 する条例は

る。こういった組合の育成強化 化を図るべきだとの意見があり 導を積極的に推進し協同、協業 のため法に基づいた市独自の指 場産業の任意組合が相当存在す 本市には組織されていない地

く要望いたしました。 また、 本市商上行政を進め

> 焦点となり、その内容は次のとお 好都市の協約が結ばれているデ・ 主に、ポー市との姉妹都市経結が、計し、また、すでに親善姉妹、友

まず、市長より多面的に共通すあたっても、計画的に活発な変流

モイン、ロダイ両都市との親等に

望の強い施設を造るよう強く要 る体制を早期に確立し、市民要 望しました。 重度の心母障害児童を受け入れ ◇甲府市幸 療育園条例は

| 置を予定している国際盟友委員会 | 補助と併せて行いさらに負担軽減 | を必要とする重要問題をかかえて |

育成を基に、福祉モデル都市とし 育の均衡をはかっていく。 を図る。

七月臨時会は、市立甲府商業高 | 付託され、いずれも提案のとおり | いては、中庭と多目的研修室が連 | し、公平且つ慎重な配慮をするよ けいを持つなかで調和のとれたも、う強い要認意見が出されました。 札に際しては、情報収集を適格に 勢を今後も堅持し、また指名、ス のため、市内業者を優先させる姿 理して、本市地場産業の育成発展、り次の要望がありました。 一、団他内の遊園地は、一か所に 一、団世完成時までにバスの乗り | 置していく一定である。 入れについて交渉するとと。 ので、各棟の前に分散すること 作ると細張り争いの原因になる

(水道委員会)

(建設経済委員会)

わる債務負担行為の追加補正など一って

十六案件を付議して、七月十七日

一、造団については、緑を中心と よう十分配慮すること。

以上の点等を中心に総合的な、

□招集され、総務、建設経済、水 した学聞方式であるので、当初の

等学校移築工事第一期建築工事外一可決するものと決しました。

甲商移築・南西小(仮称)新設など決る

十三件の請負契約締結、また陸西

甲府商業高等学校の移築工事に一のとすること。

び南西小学校(仮称)の新築をは、場としても活用できるよう検討す | 決定するととが明らかになりまし | 将来は交通事情等の勘案をしてそ 査し、いずれも市長提案のとおり | たて緑の学園としての効果を発揮 | である緑の学園としての効果が最 | 者住宅も併設されているが立物矢 道の各委員会において、慎重に審 | 目的に沿った具体的な植栽計画を | 当初よりのキャンパス的イメージ | だがその考えはないか、また身障 (仮称) 建築事業費にかか ついては、委員から、建設にあた 一、図書室については、読書をす 建設経済委員会に付託された二議 明をも十分配慮し、社会教育の面「性を考慮し指導はするが、あくま」でに建設をしていく、身段者住宅「協議をし、遺影のない十分な措置 け、さらにそれらを結ぶ動線の照。群への進路については、生徒の適。会場については、団性の完成時ま るにふさわしい雰囲気が保たれる一案は、原案のとおり可決しました なお、特徴としている情報処理 いかと質したのに対し、当局は集 団地には集会場も併せ建設すべき。ロアー棟、管理本館の築造工事、 の住宅に将来ふりかえる考えはな が、委員中より、百戸以上の大型は、大津終末処理場ポンプ所、プ じ工事現場内での二業者の工事施 おり可決しましたが、委員から同 公共下水道管 (第一、二工区) 布 住吉処理場汚水ポンプ設置工事、 行にあたつては、関係者と綿密な 水道委員会に付託された五騰架

の地下湧水等、市施設の完成後に、ことなどの要認のほか、次の点が、度は、県民総ボランティア精神の一設とあわせ、生徒増、通学路の間、場合もあるが、市長を請助する職・在をし、また直接設計担当者によ、験の近代化及び原因辺地域の都市 一、城南中校庭のガス問題、病院一数化は、九月をメドに創度化する一、身体障害者対策について本年一、北西中、南西小、東南小の新一行政教行上、時には市長が不在の「が担心され、委員会は特に現場関一市将来の発展にとって必要な申府 |相生、春日、富士川の中心部に設|解決に当ることを確認しました。 再編を行い、適正規模を確保し数い行政執行を行うことが課せられ一を怠ることのないよう強く要求し、駅近代化促進に関する調査特別を 題、住民動情などを配慮して学区、員は、総力を結集して問違いのなる説明会を開く中で、万全の備え |の立場から小学校を対象に計画的 | た。更に議会においても各党各派 に股間するが、今後は特に欠切、 少年育成、地域住民の健康づくり | ていくとの決意の表明がされまし 一、夜間照明施設については、青 の使命感をもって万全の対処をし が一致協力し、全力をあげてその |た使命である。従って留守中もそ いる中での市長訪欧米に対しては

一、五段階評価については個人評 ◇下水道事業特別会計

評価を加味するよう指導をしてい

公祭に頼ることなく、大学を通じ また、刑務所移転など早期解決一をし、早期に充足すること。 て確保するなど担当の決意と努力

資賃付条例の一部を改正

ポー

市との姉妹都市締結

であるとの要認覚見を付しまし 任の所在を明確にしておくべき は万全を期すと共に管理等の資 スポーツ公園の管理にあたって

> 解の枠を広めて生活を豊かにし、 後の市民生活の上で、お互いに理ました。

特別委員会を設置

も大きく裨益するものがあり、今 なく協約を締結することに赞同し 文化、また、産業経済而において 果されることを要望し、全員異議 る条件をもつ両市の交流は、学術を行い、十分にその目的、意義が

ました。

【甲府駅近代化促進に関す

和光好雄 貴雄 武男

委員長 品委員長

小林 医

日

柏原 保華 幸男

学識経験選出

ので、通信表等はできる限り絶対「協関係の技術者については、一般 を有する者の中から選ぶ点案法員 ◇ 農業 委員 推せん 者 五 名 既以治され、何也としては望ましくない頃がある | 、現在不足している文質及び副 市長から依頼のあった學語経験 た。 「○市道編入祭師としては望ましくない頃がある」、現在不足している文質及び副 市長から依頼のあった學語経験 た。 県有財産保護組合議会議員の選挙 推せん、並びに第一原何丈山原賜

助役に木下勝朗氏を再任 寺町六二三番地の一、山梨県師館 って同意するととに決しました。 (木下氏の略歴) 甲府市授松

本、 全きてい、 受います。 大月定例会において河口市長か

導、山県県地方事務所長、社会部

学校太科第二部卒、塩山小学校訓

が提案され、職会は満場一致をも

満場一致で同意きめる

並びに説明公が開かれましたが、「摘し今後は、事前に詳細を調査検

過報告を議園とした、全員協議会 体的な交流計画が乏しいことを指 転、甲府駅近代化の今日までの経 動の本来の目的、意義に沿った具

締結について、及び甲府刑務所移 県ボー市との親善姉妹都市協約の

これに対し、議会は姉妹都市運

ス国ピレネー・アトランティック 目的とする 旨の 説明があり まし

六月十三日本会議終了後フラン さらに、国際親湾を深めることを

全会一致で賛同

◇甲府市都市公園条例の 強化することが急務であると強 実を図るなど指導体制の充実、 るにあたり担当部門の人員の充

一部を改正する条例は、

務所の移転は、用地取得が難行し ており、これを早期に解決し、移 転の促進を図るべく、議会も同期 甲府駅近代化 六月定例会の最終日には甲府刑

◇病院事業会計

する調査特別委員会」と、また、

に引き続き「刑務所移転促進に関

大要であります。 以上が予算特別委員会の常在の一組むことになりました。 病院新館地下室の湧水処理問題 員会」を設置して、積極的に取り 再関発の推進を図るための「甲府る調査特別委員会」八名 長い間の市民の願いであり、甲府 両特別が員会の構成は次のとお

【甲府刑務所移転促進に関

石丸 あきじ 畑込 徳 一久

農業委員を推 せん

採択されたもの

請

願

一が行われ、次のとおり決りまし 市村鄭男正雄 和好 内藤 古屋永太郎 源 か

>第一奥仙丈山恩賜県有財 統統審査するもの

産保護組合議会議員 九名 〇在宅医療・訪問看診・訪問リハ 【民生委員会】

千代田並区

千塚 (山宮) 地区 日本 精義 大久保稲夫 石橋

益一 小田切 満 四名社団法 四名ピリ制造の実施 名 〇歯科術生施策(共科歯科センタ 一・甲府共立病院歯科・山梨勤医 協労烈由科支部・代表・榊原雅 患者をもつ家族会べ去・酒井実) ○診然報酬支払方法の改善要請 山梨對労者医療協会理事

地田並以

長 解 宋木 恒秋

五味 理作

小林武太郎

一張なか

○治水に対する応急措置(塩部四 丁目第三百治公長・一ノ獺俊雄ほ)市道編入整備 (甲府市向町·川 【建設経済委員会】